

様式4

令和~~三~~年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2023年5月25日

学長 殿

所属部局・職名 経済経営学類・准教授

申請者名 三家本 里実

| | |
|---------------------|---|
| 助成の区分 (該当するものに○) | 学会参加助成・学術出版助成・学術論文掲載料等助成 |
| 事業名 | Historical Materialism |
| 成 果 の 概 要 | <p>2023年4月20日から23日にかけてギリシャ・アテネ(Panteion University)で開催された Historical Materialism Athens Conference に参加した。</p> <p>申請者は、4月21日に、Marx's "Real Subsumption" and Braverman: The Transformation of the Labor Process by the Introduction of AIと題した発表を行った。当日は、約50人の参加者がおり、15分ほどの口頭発表ののち、10人ほどから質問を受け、ディスカッションを行った。AI等のテクノロジーの導入によって、ケア産業を含む多くの業種における労働過程や労働主体の変化、そして、その理論的位置づけについて、有意義な議論を行うことができた。</p> <p>自身の発表だけでなく、会期中は、他の発表を聞きに行き、自身の研究テーマにとどまらない、ジェンダー・国家、気候変動などの報告に触れることができた。また、学会開催前、および開催後には、学会内でディスカッションしきれなかった他の研究者と交流する機会をもつことができ、今回の自身の発表内容をよりバージョンアップさせる必要性を認識することができた。</p> <p>今回、国際学会における発表の機会を得て、また他の参加者とのディスカッションを経験し、世界の議論水準を把握することができた。今後は、今回の発表内容を論文化し、査読付き英語ジャーナルへの掲載を目指す予定である。</p> |